

(様式2)

学校関係者評価報告書

愛媛県立東温高等学校
学校番号(26)

評価実施日		令和3年2月1日(月)	
委員	氏名	所属等	備考
	高須賀 広一	東温市教育相談員	
	野本 勝	遠赤青汁株式会社(主任)	
	吉田 典夫	居宅介護支援事業所ゆのく(管理者・介護支援専門員)	
	青木 進治	東温高校PTA会長	

評価・提言等	提言等に対する改善方策等
<p>1 今年度の最終評価について</p> <p>(1) 学習指導</p> <ul style="list-style-type: none">・生徒は学習内容の理解が不十分であると感じているのに対し、教員は理解していると捉えているところがある。教師は不十分であると感じ、生徒がもっとわかりたいと思うような関係がよい。・リモートを活用した授業について教えていただきたい。・小中学校でも家庭学習の習慣は身に付いていない。小中学校なら保護者を通して指導することも考えられるが、高校では難しいのではないか。 <p>(2) 生徒指導</p> <ul style="list-style-type: none">・落ち着いた雰囲気の中で授業が行われていた。廊下から中学校教師が参観しても、以前のようにこちらを見てにやけたり、声をあげたりする生徒がいなかった。生徒指導がしっかりできている成果が表れていると感じた。・近隣の中学校の近くで、夕方の暗い時間帯に道路をふさぐように自転車で並進している生徒を見る。学校から少し離れた場所での自転車のマナー指導も必要だと感じた。・生徒指導の数が1年生で増加している。今後どのような対策が考えられるか。 <p>(3) 進路指導</p> <ul style="list-style-type: none">・理数類型や英語理解類型で学び、国立大学や県医療技術大学への進学や希望する職業につなげたい生徒がいる。もちろん生徒の能力によるところは大きいと思うが、手厚い進路指導を引き続きお願いして、自己実現をさせていきたい。	<ul style="list-style-type: none">・教員が満足するのではいけないと考えている。授業改善・工夫について、職員会議で教員全体に話していきたい。・家庭のIT環境を調査した。Wi-Fi環境が整っていない場合、リモートでの授業は難しい。現在はタブレット端末を増やし、教員対象のZoomの研修などを行い、次、休校になった場合に備えている。・授業研究をしっかりと行い、生徒の興味・関心や向学心を高める取組をしていきたい。 <ul style="list-style-type: none">・指導件数は確かに倍増している。ふだんの指導をきめ細かく、繰り返し指導していくしかない。・コロナ禍において様々な制限がある中で、面と向かって時間をかけて話をしたいが、難しい状況にある。とにかく粘り強くやっていくしかない。 <ul style="list-style-type: none">・教育課程の見直しを含めて、きめ細かい指導、個に応じた進路指導を実践していきたい。・本校の実情を鑑み、補習の在り方を検討する必要がある。

(4) 人権教育

・いじめ防止の体制づくりについては、よくわかるが、いじめについてどのくらいの期間で対応しているのか。
・コロナによるいじめなどが発生しないようにしなければならない。

・早期発見・早期対応で行っている。加害者には、どうしていじめがいけないのかを理解させている。
・だれがPCR検査を受けたかなどの情報管理を徹底するようにしている。SNS等で誤った情報が拡散するというようなことが懸念されるが、いまのところは耳に入っていない。

(5) 特別活動等

・コロナ禍の大変な1年であった。校内の消毒作業など、御苦労が多くあったと聞いている。部活動の遠征や、教員の出張などで生徒や教員がコロナに感染した場合、どのような対策をとることになっているか。

・部活動の場合は、予選を勝ち進んで行う公式戦への参加は許可するなど、県下共通したルールで行っている。学校判断の部分は、参加数やその行き先の感染状況等をふまえて判断している。
・教員の県外出張の場合は、公共交通機関の不使用や、出張先の過ごし方などをまとめたマニュアルを作成し、対応している。

2 学校運営への提言

・個に応じた進路指導の成果が大きく見えると、志願者数が増えていく。近隣にある学校同士なので、本校生徒が目指す学校の一つであってほしい。
・一人ぼっちで下校する生徒に声かけをしたことがあるが、その生徒の姿がどうしても気になる。そのような子が楽しそうに笑顔で通える姿を見たいと思っている。
・体育祭、文化祭は制限があったが、無事に開催できたこと、先生方や保護者の方々の尽力、協力のおかげであると感謝したい。このような形でいろいろな意見交換がなされることが生徒のためになると思っている。

・生徒との面接指導を大切にして、高い目標を持たせる。進路に対する意識を高めるとともに、担任・学年団と連携を取り、各類型・コースにあった質の高い指導を行っていく。
・誰一人取り残されることなく、全ての生徒が楽しく有意義な学校生活を送っていると感じるよう、あらゆる活動で支援に努める。
・コロナ禍おける差別を防ぐ努力を継続しつつ、いじめ問題では早期発見・早期対応に努め、生徒課、相談課との連携を深め、学校全体で取り組む。